

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第1部門第1区分

【発行日】平成18年1月5日(2006.1.5)

【公表番号】特表2002-509692(P2002-509692A)

【公表日】平成14年4月2日(2002.4.2)

【出願番号】特願2000-510858(P2000-510858)

【国際特許分類】

**C 1 2 N 15/09 (2006.01)**

**A 6 1 K 31/7125 (2006.01)**

**A 6 1 K 48/00 (2006.01)**

**A 6 1 P 35/00 (2006.01)**

C 0 7 K 14/025 (2006.01)

C 1 2 N 9/00 (2006.01)

【F I】

C 1 2 N 15/00 Z N A A

A 6 1 K 31/7125

A 6 1 K 48/00

A 6 1 P 35/00

C 0 7 K 14/025

C 1 2 N 9/00

【手続補正書】

【提出日】平成17年9月2日(2005.9.2)

【手続補正1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】特許請求の範囲

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】 配列番号2または配列番号3に相補的なオリゴヌクレオチド配列を含むアンチセンスオリゴヌクレオチドのアナログであって、該アナログは、少なくとも1つのリン酸ジエステル結合がホスホロチオエート結合で置換されたホスホロチオエートアンチセンスオリゴヌクレオチド、少なくとも1つのリン酸ジエステル結合がホスホロチオエート結合で置換され、および少なくとも1つのリン酸ジエステル結合が2'-0-メチルヌクレオシドリン酸ジエステル結合で置換された混合性骨格のアンチセンスオリゴヌクレオチド、少なくとも1つの末端が2'-0-メチルヌクレオチド部分、メチルホスホネート、ホスホラミダイト、ホスホロジチオエート、またはN3' P5'-ホスホラミダイトを有する末端修飾化アナログであるアナログ。

【請求項2】 請求項1に記載のアンチセンスオリゴヌクレオチドのアナログのいずれか1つまたはその混合物を、薬学的に受容されるキャリア中に含む治療用組成物。

【請求項3】 配列番号2または配列番号3に相補的な配列を含有するリボザイムをさらに含む請求項2に記載の治療用組成物。

【請求項4】 配列番号6、配列番号7、または配列番号17の配列を含むアンチセンスオリゴヌクレオチドのアナログであって、該アナログは、少なくとも1つのリン酸ジエステル結合がホスホロチオエート結合で置換されるホスホロチオエートオリゴヌクレオチド、少なくとも1つのリン酸ジエステル結合がホスホロチオエート結合で置換され、および少なくとも1つのリン酸ジエステル結合が2'-0-メチルヌクレオシドリン酸ジエステル結合で置換される混合性骨格のオリゴヌクレオチド、少なくとも1つの末端が2'-0-メチルヌクレオチド部分、メチルホスホネート、ホスホラミダイト、ホスホロジチオエート、ま

たはN3' P5'-ホスホラミダイトを有する末端修飾化オリゴヌクレオチドであるアナログ。

【請求項5】 請求項4に記載のアンチセンスオリゴヌクレオチドのアナログのいずれか1つまたはその混合物を、薬学的に受容されるキャリア中に含有する治療用組成物。

【請求項6】 配列番号4、配列番号5、または配列番号16のアンチセンスオリゴリボヌクレオチドのアナログであって、該アナログは、オリゴリボヌクレオチドホスホロチオエート、2'-0-アルキルオリゴリボヌクレオチドホスホロチオエート、または2'-0-メチルリボヌクレオチドメチルホスホネートであるアナログ。

【請求項7】 請求項6に記載のアンチセンスオリゴリボヌクレオチドアナログのいずれか1つまたはその混合物を、薬学的に受容されるキャリア中に含む治療用組成物。

【請求項8】 配列番号9に記載のオリゴヌクレオチド配列を含むアンチセンス治療用組成物。

【請求項9】 HPVによる生存細胞のトランスフォーメーションを防止するための、請求項8に記載のアンチセンス治療用組成物。

【請求項10】 前記生存細胞がヒトケラチノサイトである請求項9に記載の治療用組成物。

【請求項11】 前記生存細胞がヒト子宮頸細胞である請求項9に記載の治療用組成物。

【請求項12】 HPVによる生存細胞のトランスフォーメーションを防止するための、請求項2に記載の治療用組成物。

【請求項13】 前記生存細胞がヒトケラチノサイトである、請求項12記載の治療用組成物。

【請求項14】 前記生存細胞がヒト子宮頸細胞である、請求項12記載の治療用組成物。

【請求項15】 生存細胞においてHPV遺伝子E6の発現を阻害するための、請求項2に記載の治療用組成物。

【請求項16】 前記生存細胞がヒトケラチノサイトである請求項15に記載の治療用組成物。

【請求項17】 前記生存細胞がヒト子宮頸細胞である請求項15に記載の治療用組成物。

【請求項18】 生存細胞においてHPV遺伝子E6の発現を阻害するための、請求項5に記載の治療用組成物。

【請求項19】 生存細胞においてHPV遺伝子E6の発現を阻害するための、請求項7に記載の治療用組成物。

【請求項20】 子宮頸腫瘍の増殖を阻害するための、請求項2に記載の治療用組成物。

【請求項21】 子宮頸腫瘍の治療のための、請求項2に記載の治療用組成物。